

## 平成30年第1回教育委員会議事録

開催日時 平成30年1月24日(水)  
午前9時30分～午前10時31分

場所 教育委員会会議室

出席者 教 育 長 石 黒 貢  
教育長職務代理者 加 藤 正 道  
委 員 朝 稲 康 秀  
委 員 木 下 史 江  
委 員 中 川 まどか

事務局出席者 教育総務部長 香 山 庸 子  
学校教育部長 井 上 正 人  
教育総務部副部長 横 山 俊 之  
学校教育部副部長兼学務課長  
田 口 周 一  
教育総務課長 関 根 宏 夫  
社会教育課長 鈴 木 浩  
文化財保護課長 岸 本 光 子  
指導課長兼小中一貫教育推進室長  
猪 原 誠 一  
教育総務課庶務係主事 内 山 翔 太

- 開会の言葉及びあいさつ 石黒教育長

## 会議事項

### 1. 会議録の承認について

- (1) 平成29年第12回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

### 2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

### 3. 議題

なし

### 4. 各部課長報告・連絡事項

#### ●香山教育総務部長

- (1) 平成29年12月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について

【資料説明】

平成29年12月分「市民の声ボックス」について、市全体の投書は14件で、このうち教育委員会への投書は3件でした。

内容としては、「自宅から●●●へ電話で問い合わせた後、●●●から電話がかかってきた。この職員は個人情報保護法を分かっていないのではないか。そもそもナンバーディスプレイのある電話機を使用するのはなぜか。」というもので、回答については、「電話に着信履歴が残る機能がついていますので、間違った説明をしてしまった職員が電話機のリダイヤル機能を利用して電話したものです。はじめの問い合わせに正確にお答えできなかったこと、リダイヤル機能を利用した旨、きちんとご説明しなかった点については真摯に反省し、今後は、このようなことがないように努めてまいります。」と回答しました。

次に、指導課宛に「近所の子どもが我が家の敷地（庭）内に入って困ってい

る。どうしたらいいか。」というもので、回答については、「日頃、小学校では放課後の過ごし方等について児童に指導しているところですが、改めて各学校に対し、他人の敷地には入らないよう指導し、周知してまいります。」と回答しました。

また、教育総務課宛に「改正法4条1項により、生え抜き行政職から「教育長」起用は、常識的な選択の1つになった。」というもので、回答は求められていませんので、業務の参考としました。

## ●井上学校教育部長

### (1) 負担軽減検討委員会からの報告について

#### 【資料説明】

1月19日に第4回負担軽減検討委員会を実施いたしました。今回は最終回となり、教職員負担軽減の対策についてということで、案を作成いたしました。今回の資料は、第4回での検討内容を受け、教育委員会事務局でまとめた段階のもので、委員長の決裁をいただいていることから、案という形で提供しております。

内容は大きく6点ございます。

1点目は、パソコンの共有フォルダを作成し、各々で進めていた事務を共有できるようにすることで、負担軽減を図るというものです。

2点目は、すでに実施している学校もございますが、通知表、指導要録の電子化を進めることです。

3点目は、出退勤時刻の把握について、手書きで行っている学校や専用のソフトを使用して記録している学校がありますが、予算を考慮しながら、一年間かけて市内で同一の方式にすることを検討していくこととしました。

4点目は、お盆期間中、日直を置かない期間を設け、来年度については、8月13日から15日の3日間とする方向で検討しております。

5点目、部活動の休養日については、週一日の休養日を設けるということとし、中学校長会で具体的な話を進めていくことになりました。

6点目、その他として、ノー残業DAYやふれあいDAYの推進、留守番電話の対応など様々な意見が出たところでございます。特に、留守番電話の対応については、市内のいくつかの学校では、「○曜日○時以降のお電話はご遠慮ください」という通知を保護者あてに発出し、お願いしているところでございますが、6月に電話機の契約が切り替わり、留守番電話機能がついた新たな電話機が市内15校に導入される予定ですので、導入するまでの間にどの時間帯を留守番電話にするかを検討してまいります。

●田口学校教育部副部長兼学務課長

(1) 学校給食費の収納状況について

【資料説明】

1月22日現在の12月分までの収納状況を集計したものとなっております。小学校合計の収納率は99.82%となっており、収納率100%を維持している学校もございます。中学校合計の収納率は99.64%となっております。小中学校合計では99.76%となり、昨年度同時期と比べると0.16%上昇しており、未納額は439,260円少ない状況となっております。

各校において未納者に対して催促していただいております。学務課においても電話催促するなど、教育委員会と学校で情報共有をしながら進めております。

(2) インフルエンザ等による学級閉鎖の状況について

1月23日現在のデータとなっております。

1月22日月曜日から学級閉鎖が急激に増え、22日に受けた報告のみで7件となっており、うち、八幡小につきましては学年閉鎖となっております。

また、1月23日は4件ございまして、内訳は、潮止小1件、大原小1件、八條小2件となっております。

さらに、表にはございませんが、本日この会議の開始前に学校から報告がございまして、大原小1年1組で1月25日から26日まで、また、大曾根小2年2組で同じく1月25日から26日まで学級閉鎖となります。

毎週保健所から通知される週報の内容から考えますと、昨年度の一定点あた

り50件が過去10年間で最高の数値となっておりますが、今回はそれを上回  
るのではないかと予想しております。

インフルエンザの注意喚起につきましては校長連絡協議会にて引き続き行っ  
てまいります。1月20日土曜日に八潮市PTA連合会会長会議が開催され  
ますので、その際にも注意喚起をしてまいります。

●関根教育総務課長

(1)平成30年度定例教育委員会の開催予定(案)について

【資料説明】

毎月第4水曜日午前9時30分からの開催を予定しております。日程を調整  
の上、ご出席くださるようお願いいたします。

●鈴木社会教育課長

(1)平成30年八潮市成人式について

【資料説明】

1月8日月曜日に執り行われました成人式ですが、対象者823名に対しま  
して、出席者574名、出席率は69.7%と、70%に迫る高い出席率でご  
ざいました。

新成人の皆さんの態度が素晴らしく、盛大に式典を終えることができました  
ことをご報告させていただきます。

(2)図書館を使った調べる学習コンクール結果報告について

【資料説明】

市内の各学校のご協力の下、児童生徒の皆さんが、自分でテーマを決め、図  
書館を使い、レポートを作成するというこの学習コンクールですが、1として、  
まず、「八潮市図書館を使った調べる学習コンクール」がございまして、こちら  
で4点を表彰いたしました。

次に2ですが、こちらは前述の1にある本市コンクールの最優秀賞と八條図  
書館長賞の2点を推薦した全国コンクールで、佳作を受賞いたしましたので、  
ご報告させていただきます。

応募総数に対して、入賞等の4部門での受賞割合を見ますと、1.78%と狭き門でございましたので、喜ばしい限りでございます。

(3) やしお市民大学・大学院の研究発表会について

**【資料説明】**

市民大学院につきましては、2月3日土曜日9時30分から12時まで、市民大学2学年につきましては、2月17日土曜日13時30分から16時まで、場所は双方とも八潮メセナ集会室を会場としまして、それぞれ資料に記載しているテーマにつきまして、発表を行うというものでございます。お時間がございましたら、ぜひ、お越しく下さい。

(4) 平成29年度生涯学習学校開放講座合同作品展について

**【資料説明】**

2月13日火曜日から2月17日土曜日まで、八潮メセナにおきまして、受講生の活動の成果などが展示されておりますので、お時間がございましたら、ぜひご覧いただければと思います。

●岸本文化財保護課長兼資料館長

(1) 郷土の画家「上條肇作品展」について

**【資料説明】**

上條肇氏は、長野県松本市のお生まれですが、八潮市内に移り住み、後進に日本画の指導をするとともに、院展（日本美術院展覧会）や日展（日本美術展覧会）にも精力的に出品し、高い評価を得ておられた日本画家でございます。

平成15年に資料館へ44点の日本画が寄贈されました。今回、そのうちの15点を展示させていただきました。大型の絵画も含めて見ごたえのある作品群ですので、お時間がございましたら、ぜひご来館ください。

(2) 季節展示「ひなまつり」について

**【資料説明】**

資料館古民家旧藤波家住宅で開催いたします季節展示「ひなまつり」についてです。2月17日土曜日から3月4日日曜日まで開催いたします。ひなまつ

りには、女の子の健やかな成長を祈る行事として、地域によって様々な雛人形が飾られております。今回の展示では約80年前の関東地方の7段飾り雛や、関西地方に見られます御殿飾り、稲取地方で飾られるつるし雛等を展示いたします。こちら是非ご覧いただければと思います。

●猪原指導課長兼小中一貫教育推進室長

(1) 生徒指導について

【資料説明】

(2) 八潮市小中一貫教育「はばたき2017」合同報告会について

【資料説明】

ご案内でございます。2月20日火曜日14時15分から八潮メセナホールにて開催いたします。内容につきましては、(4)八潮こども夢大学の報告についてで、皆様の前で報告してもらおうということで、大瀬小6年生の水谷卓郎さんに発表していただくと考えております。

また、(5)小坂町派遣研修報告について、代表として、柳之宮小学校の鈴木先生が報告いたします。

さらに、(6)けいかく部会からの研究発表ということで、今年度は各ブロックの説明をするためのプレゼンテーションを作成いたしましたので、披露させていただきたいと思っております。こちらは、これから入学する子どもたちや保護者に説明していくためのものでございます。

続いて、(8)座談会についてですが、小中一貫教育でお世話になっている文教大学の平澤名誉教授に進行していただきながら、「学校現場から見た八潮の小中一貫教育」ということで、八條中ブロックから、八條小の柳橋先生、八條北小の須賀先生、八條中の金塚先生の3名にパネラーとなっていただき、座談会を開催いたしますので、お時間がございましたら、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

(3) その他

大きく4点ございます。

1点目は、平成29年度卒業証書授与式と平成30年度入学式の日程についてでございます。後日、詳細の通知と依頼をさせていただきますが、卒業証書授与式は、小学校が3月23日金曜日、中学校が3月15日木曜日となっており、ともに午前中に実施されます。また、入学式については、小中学校ともに4月9日月曜日となっており、午前中に小学校10校で実施され、午後は中学校5校で実施されます。

2点目は、学習塾との連携事業についてでございます。今回は1月13日よりスタートし、全8回中すでに2回実施いたしました。

状況といたしましては、今年は、市内の5年生751名のうち、165名が参加しております。今回は八潮中で実施し、全20クラスに分け、1クラス7～8名での少人数指導を実施しています。

保護者のお話によると、7～8名のクラスに2人の講師がついて指導してくださることについて評価しておりました。また、児童にも話を聞きましたが、まだ2回目であったこともあってか、「緊張している」という回答がほとんどでしたが、「分からないことを70分かけて丁寧に教えてもらったので分かるようになった」と話していた児童もいました。講師の先生からは、分からない部分はきちんと質問してくるなど、非常に意欲的に取り組んでいるという報告を受けております。

3点目は、八潮市教職員負担軽減検討委員との懇談会についてでございます。先般ご案内のとおり、2月21日の定例教育委員会の日の、八幡中学校訪問後に開催予定でございます。当日は、懇談会の中で、委員の皆様には負担軽減検討委員の方々に質問をしていただきながら、進行していこうと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

4点目は、児童生徒の活躍についてでございます。大原中のコンピュータ部生徒が中学生ロボットチャンピオンシップにおいて県で優勝し、1月15日に市長、教育長への表敬訪問を行いました。優勝、準優勝、また、実質3位にあたる賞としてベストテクニカル賞の上位3つを独占しました。

○石黒教育長

付け加えてお話をさせていただきますが、2月7日の校長連絡協議会開始前に、八潮市PTA連合会の松井会長がお見えになる予定です。東日本大震災で被災した児童生徒が八潮市で学んでいるということで、バザーの収益金から出資した資金を被災児童生徒のために使ってもらいたいということから、毎年寄付をいただいております。今回はこのことについての寄付贈呈式を行います。今なおご支援いただいているということで、大変ありがたい取り組みであると思います。

もう一点、2月8日のことについて、連絡をお願いします。

●猪原指導課長兼小中一貫教育推進室長

八潮こども夢大学のことについてとなりますが、2月8日に京都府城陽市の総務文教委員会の議員の方が5名いらっしゃる予定でございまして、本市で行っている八潮こども夢大学について状況等を聞きたいということで行政視察にいらっしゃいます。

[ 教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑 ]

○木下委員

教職員負担軽減について、ふれあいDAYとはどのようなものでしょうか。

●井上学校教育部長

ふれあいDAYは埼玉県が導入したものでございまして、月に何日か、あるいは週に何日かは早く帰宅するという、ノー残業DAYに似たものですが、家族とのふれあいの時間をつくるのが目的のものとなっております。

○木下委員

部活動の休養日について、中学校の部活動は土日は休みとしているところもあれば、そうでないところもあるかと思いますが、もし休養日が設けられた場合、きちんと統一する形で話が進んでいくのでしょうか。あるいは顧問の先生の意味で行ったりするのでしょうか。

●井上学校教育部長

毎週土曜日は活動を行わないとする部活動はございます。また、昨年度の八幡中の場合では、部活動によって体育館を使えるスケジュールが決まっているので、一週間の中で一日は部活動なしの日を設けるということで、いつ休養日とするかは中学校にお任せしている形でした。中学校長会でも話し合っていたとき、週一日程度休養日を設けていただくという方向で進んでおりますが、教育委員会といたしましては、土日のどちらかと、それ以外の日にも一日休養日を設けていただきたいと思いますと考えております。

中には、部活動に大変熱心な先生もいらっしゃいますが、一日は設けましょうということでお願いしていく予定です。

しかしながら、顧問の先生からすると、大会の一週間前や県大会出場が決まったことなどで、力の注ぎ方が変わってきます。やる気を持って取り組む先生の気持ちを削ぐことのないように、校長先生等と話をしながら進めていきたいと思っております。

○朝稲委員

本市の教職員の時間外勤務の平均時間について、教育委員会では把握しているのでしょうか。

●井上学校教育部長

各学校で記録をしております。繁忙期とそうでない時期の一週間ずつは教育委員会に提出してもらい、教育委員会で把握しております。

○朝稲委員

民間企業では月に45時間が限度と労働基準法で定められていますが、以前新聞で読んだ内容によると、先生方の平均残業時間は1ヵ月あたり63時間～65時間くらいということでした。それを改善するために負担軽減に取り組まれていることと思っておりますが、長野県ではタイムカードを設置し、先生方にメリハリをつけて、一日で何ができるのか、優先順位をつけて働いてもらい、この取り組みを行うことで残業時間が42時間まで短縮されたという事例がありま

した。横浜市では18時以降は留守番電話に切り替わり、東京都では在校時間を11時間以内とするという取り組みを進めています。出退勤管理を統一し、先生方の負担軽減につながればと思います。

○石黒教育長

今後、負担軽減検討委員会の懇談会もごございますので、教職員の立場からの意見も聞けると思います。ぜひ、ご意見をいただけたらと思います。

○加藤教育長職務代理者

部活動について、外部指導員がいる部活動もあるかと思いますが、基本的には顧問の先生がいなければならないのでしょうか。

●井上学校教育部長

中学校の部活動では、小学校のように付きっきりでいなければならないということではございません。例えば顧問の先生が職員室で会議を行っているという状況でも、生徒が自主的に部活動を行うことは可能です。また、顧問の先生が出張であっても、他の部活動の顧問の先生にその日の部活動を任せたことが明確にされていれば活動を行うことは可能です。外部指導者単独で行うことはなく、必ず校内に教員がいる形をとっています。

○木下委員

中川小の授業参観の感想を伝えたいと思います。「割合」という難しい内容の授業でしたので、どのように進めていくのか大変興味深く見ていました。

まず驚いたのは、子どもたちは発表するための声の出し方がしっかりと身につけていたことと、今までは発表をする児童が固定化されていることが多かったと思いますが、きちんと各々が考えを持っていて、どの子を指名したとしてもしっかりと自分の意見を発表できると感じました。何を求められてどのような回答をしなければならないかという見通しができていると感じました。

また、今までは「〇〇さんと同じで」という答え方が多かったのですが、「〇〇さんの考えに付け足すと」という、他人の意見に付け足すという一段階上の回答の仕方をしていたので、八潮スタンダードがきちんと定着していることを

実感しました。定着した八潮スタンダードを、ぜひ中学生になっても引き継いで実践してもらいたいと思います。

岡部先生と阿部先生の授業の中で小さな声で話す場面があり、児童がしっかりと聞き取ろうとして集中する状況を作り出す話術を見て、大変勉強になりました。

○中川委員

以前道徳の授業を見ましたが、今回は算数ということで、どのように授業を進めていくのか関心がありました。大人でも難しいと思いますが、単に式で求めるだけでなく、言葉に置き換えて説明をし直させるという授業の流れとなっていました。説明し直すという作業を繰り返し行い、それが蓄積されていくことで、算数だけではなく、あらゆる場面において応用が利くのではないかと思います。先生の話し方についても、声の大きさを上げたり、勢いで話すのではなく、児童の様子を見ながら、間の置き方や締め方を考えて授業をしている点について、深く研究して実践なさっているということが感じられました。

[ 教育長が定例会閉会の宣言をする ]

会議終了。

次回開催日程

第2回定例会 平成30年2月21日(水) 午前9時30分

会議録作成責任者.....

会議録作成者.....

会議録作成者.....

上記会議録に相違ないことを出席者全員ここに署名する。

八潮市教育委員会

教 育 長 .....

教育長職務代理者 .....

委 員 .....

委 員 .....

委 員 .....